

小学校3年生 国語

「モチモチの木」

～登場人物について話し合おう(全11時間)～



スライド作成にあたって

物語文の単元を構想するにあたり、次の点に留意して作成しました。

- 1 単元の冒頭に、物語文を読む目的意識と相手意識を明確にしました。**
物語文を何のために読むのかを子どもが明確にもつことは、子どもの読むことへの意欲をかきたて、主体的に読むことにつながるからです。これは、子どもと教師が共有します。
- 2 これまでの物語文の学習に、ICTを活用する場面を位置付けました。**
 - ・「情報の収集」・・・ロイロノートのweb検索
 - ・「考えの可視化と比較」・・・ロイロノートの思考ツール
 - ・「単元終末に、長めの文章を書く」・・・ロイロノートの縦書きカード

教材と出会う

(1時間目)

「モチモチの木」を読む目的意識をもつ



図書館に「モチモチの木」の作者、斎藤隆介の作品を紹介するコーナーを作りたいんだけど…。

よし、斎藤隆介の作品を紹介するために、「モチモチの木」を読んでいこう。

子どもと共有



「モチモチの木」を読み、初発の感想を書く

教材と出会う

(2時間目)

難語句を調べ，作品世界をより具体的に想像する

「せっちゃん」
とは？

辞書で調べる

せっ-ちゃん【雪隠】

《「せついん」の連声(れんじょう)》
便所。かわや。

* 紙の辞書の使用を奨励するが，時と場に応じてタブレットを活用する。

百科事典で調べる

* 画像や動画なども活用できる。
紙の辞書では得られない情報を獲得する。



写真で見られるのがいいね！

情報の収集

ICT：ロイロノートのweb検索で調べる

学習課題をつくる

(3時間目)

斎藤隆介の作品を紹介するために 「モチモチの木」を読む計画を立てる

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	学習内容
本の帯 ポスター	本の帯 ポスター	花さき山八郎「モチモチの木」の共通点を考える 図書館の斎藤隆介コーナーを作る。	五場面	四場面後半	四場面前半	三場面	二場面	一場面の豆太の気持ちを 「わな」「わい」「ず」「わの」と わな、わい、ず、わの、どれか。	設定を読む時入場所	国語の時間の 学習内容
キャッチ フレーズ	豆太の心の変化	登場人物 の紹介	一文でまとめる	あらすじをとらえる	難しい言葉を調べる	斎藤隆介さんの他の作品を読む	新しい漢字を知る	朝モジュール タイムの 学習内容	斎藤隆介コーナー で紹介したい内容	

斎藤隆介コーナーで紹介するために…

- 1 登場人物の紹介
- 2 あらすじ
- 3 豆太の心の変化
- 4 キャッチフレーズ



この4つを勉強していこう。

子どもと共有

評価の規準を知る

(3時間目)

【評価規準例】

子どもと共有

〔知識・技能〕

登場人物の性格や行動・様子・気持ちを表す言葉を増やすことができる。

〔思考・判断・表現〕

豆太の心がどのように変化しているか読むことができる。

〔主体的に学習に取り組む態度・感性、思いやりなど〕

自分が考えた豆太の心の変化を友達と伝え合おうとしている。

考えを広げ深める

(4時間目)

設定（時・人・場所）を読む

斎藤さんは、時・人・場所をどのように設定しているか



- ・秋だと考える。
- ・P126L3に「霜月」と書いてある。
- ・霜月は11月のことだから、11月は秋。



- ・冬だと考える。
- ・P130L1に「雪がふり始めた」と書いてある。
- ・雪が降るのは冬だから。

考えの形成

ICT：ロイロノートで互いの考えの相違を可視化する

考えを広げ深める

(5時間目)

1 場面の豆太の心情を読む

豆太の心の中は

「こわくない」

「こわい」

「すごくこわい」

のどれかを三択で考える

立場ごとにカードの色を指定する。友達との立場の違いを可視化する。

1場面の豆太は、「こわくない」「こわい」「すごくこわい」のどれか

- ・ぼくは「こわい」だと考える。
- ・P122L4に「表には大きなモチモチの木がつつ立っていて～できないのだ。」と書いてある。
- ・「ふるふる」とは、体がふるえるという意味だから。ふるえるほどこわいのだと思う。



ICT : ロイロノートのカードに自分の考えを書く

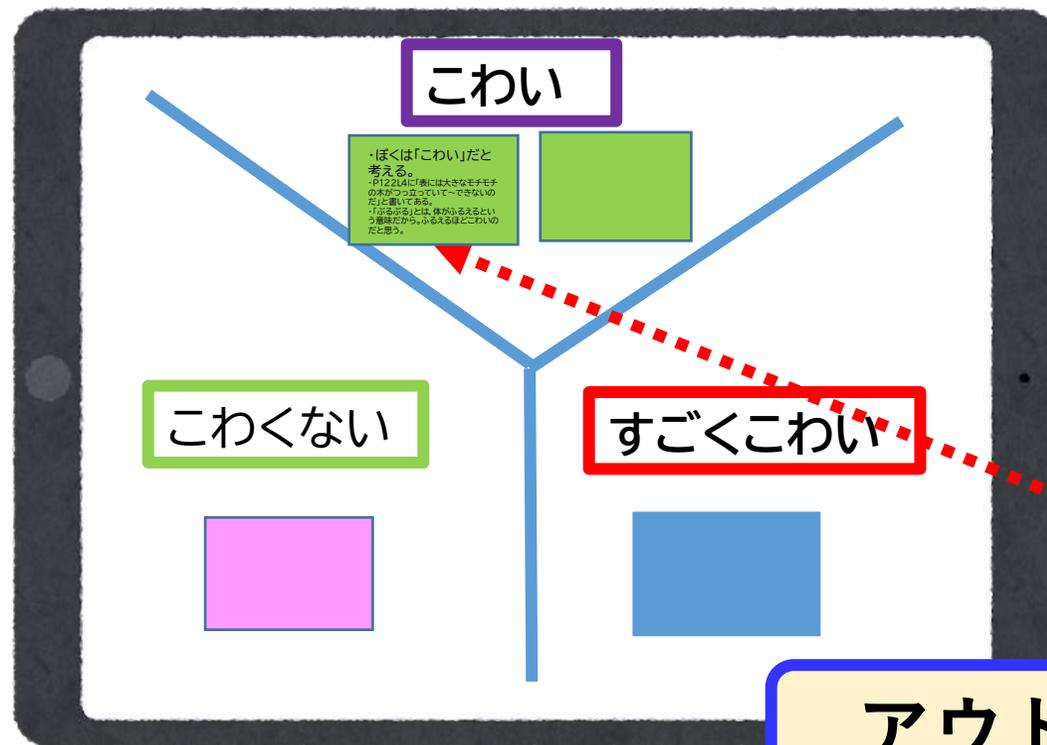
考えを広げ深める

(5時間目)

1場面の豆太の心情を読む

グループでの
対話活動

豆太の心の中は
「こわくない」
「こわい」
「すごくこわい」
のどれかを三択で
考える



ぼくは、「こわい」だと考えます。根拠はP〇L〇に、△△と書いてありますよね。ということは…

アウトプット

ICT：ロイロノートのYチャートで、互いの主張と根拠を可視化する

考えを広げ深める

(5時間目)



1 場面の豆太の心情を読む

豆太の心の中は
「こわくない」
「かわいい」
「すごくかわいい」
のどれかを三択で
考える

「かわいい」と考える子どもの根拠
Aに、Bの子どもの「ほど」を関
係付け、豆太の「かわいい」気持ち
についての読みが深まる。

A: 一人じゃ
しょうべんも
できない。

B: 豆太ほど
おくびょうな
やつはない。

全体での 対話活動

全体共有により、
様々な考えに触れ
ることができる。
考えを比較・関連
付けながら全体の
読みをつくる。

考えの形成

ICT: ロイロノートのカードを全体で共有し、比較・関連付けて話し合う

まとめる

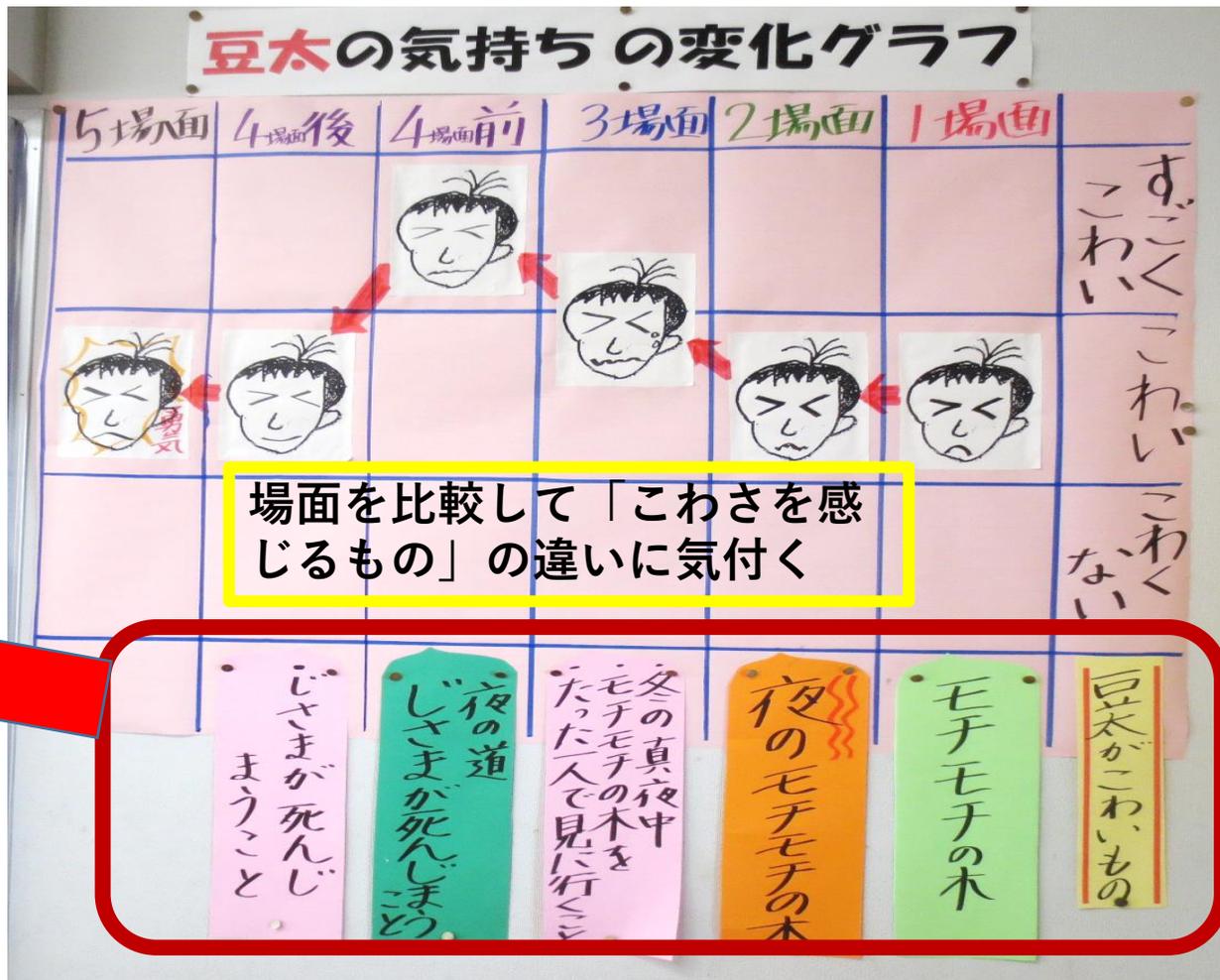
(6～9時間目)

2～5場面の豆太の心情の変化を読む

1場面と同じように、場面ごとに読んだ豆太の心情をグラフにすることで、変化を可視化していく

豆太が「こわい」と感じるものは、場面ごとに変わるんだ。
モチモチの木よりもこわいのは、「大好きなじさまが死んじゃうこと」

作品の主題を考える手がかりになる



考えを広げ深める

(10時間目)

「モチモチの木」で学んだ「設定」や「主役の心情の変化」を活用して斎藤隆介の他の作品を読む

並行読書していた斎藤隆介の他の作品から1つを選び、ポスターや本の帯で紹介する。

三コ

八郎

花さき山

情報の収集

アウトプット

ぼくは「花さき山」をポスターで紹介するぞ！



私は「八郎」を紹介するね。
まず「設定」は
時：昔
人：八郎, 村人
場所：秋田
だな。

ICT：ロイロノートのweb検索で、紹介する物語の追加情報を探す

振り返る

(11時間目)

この単元を通して学んだことを文章にする

「モチモチの木」の学習を通して、考えたこと・感じたことを少し長めの作文にする。

- 1 わかったこと・できるようになったこと
- 2 「モチモチの木」での学びを、自分が選んだ作品を紹介する時にどのように使えたか。
- 3 斎藤隆介コーナーが完成したことの感想・願い

モチモチの木の学習を終えて

一、ぼくは、豆太のこわいものは「モチモチの木」だけだと思っていました。でも、豆太がモチモチの木や闇よりもこわいものがあるとわかりました。それは、じさまが死んでしまった一人ぼっちになってしまったことです。「豆太は、大好きなじさまが死んでしまうことの方が、こわかった」という…



長い文章を書くときはノートよりキーボードで打つ方がいいよ。

だって…

- ①間違っても消しゴムでゴシゴシ消さなくていいし、それに
- ②新しく思い浮かんだ言葉を文章の途中に入れたとき、書き直さなくていいもん。
- ③それに、慣れれば短時間でたくさん書けるよ！

ICT : 長めの振り返りをロイロノートのカードに書く